



2023年3月1日
株式会社 阿波銀行

株式会社マルハ物産の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社マルハ物産（代表取締役 林 賀代子、本社：徳島県板野郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社マルハ物産
所在地	徳島県板野郡松茂町住吉字住吉開拓4番地3
代表者	林 賀代子
業種	食料品加工・販売業
設立	1971年6月24日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年3月1日



株式会社マルハ物産 代表取締役 林 賀代子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営をめざして、社員の声を積極的に収集し、改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)メンター制度 (2)セルフケア研修 (3)ラインケア研修 (4)心の健康計画(仮称)立上げ		
			② (1)2023年4月から新人社員向けに導入 (2)2023年4月から全社員向けに導入 (3)2023年12月までにリーダー以上に対象に導入 (4)2023年12月までに計画策定		
社会	ワークライフバランス	社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。	① (1)1時間単位の有給休暇取得制度 (2)勤務間インターバル制度(11時間) (3)70歳までの就業機会の制度改正		
			② (1)2023年8月までに導入 (2)2023年8月までに導入 (3)2023年12月までに導入		
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	① (1)ピーツのブランドを立ち上げ (2)規格外原料を使った商品作り		
			② (1)2024年12月までにブランド宣言 (2)2023年12月までに3アイテム開発		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① (1)改善提案制度の導入 (2)工場節水		
			② (1)2023年4月導入 (2)2024年5月までに水道代10%削減(2023年5月決算比)		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。